

東京都防衛協会会報



発行所
 東京都防衛協会
 〒162-0844
 東京都新宿区市谷
 八幡町13番地
 東京洋服会館9階
 (TEL) 03-6280-8427
 (FAX) 03-6280-8428
 e-mail: info@tda.tokyo
 HP: www.ajda.jp

東京都防衛協会

○東京都防衛協会は、区市町村の民間の有志で構成されている地区協会を中心に、昭和41年3月に結成された任意の団体です。○「自分の国は自分で守る」の気概をもって、広く都民の間に防衛意識の普及高揚を図るとともに、自衛隊を激励支援してその充実発展に寄与するような広範な活動を続けています。○会報「東京都防衛協会会報」を発行し、協会や部隊・自衛隊の活動を紹介し、都民と自衛隊の間の架け橋となっています。

第1師団熊本地震災害派遣、お疲れ様でした！

東京都防衛協会は、6月27日、練馬駐屯地において、東京都防衛協会、東京都父兄会、東京都郷友連盟、東京都募集相談員連絡協議会の各団体と共催して熊本地震の災害派遣に任じた隊員に対し、慰労会を実施しました。



(上の写真)及び補給隊長の大内二佐からそれぞれ活動の概要について、写真やスライドを使用して説明が行われました。会員の皆さんはニュース等で断片的な知識はありましたが、分かり易い説明で全体像が把握できた様子でした。

引き続き東京都防衛協会理事長の挨拶を皮切りに、西師団長のご挨拶、そして東京都父兄会岡本会長の乾杯の音頭で慰労の宴が始まりました。隊員約50名、会員約100名が16のテーブルに分かれ、派遣隊員の楽しかったことを語り合っていました。



謝辞を述べる西師団長

最後に、東京都募集相談員連絡協議会佐原会長の納杯の音頭で宴は幕を閉じ、一連の行事は成功裏に終了しました。本当にお疲れ様でした！

常任理事 湖崎 隆

東京都防衛協会五十年の歩み(2)

今回は、東京都自衛隊協会の創立十周年記念総会資料から、本会設立の経緯を改めて紹介するとともに全国防衛協会連合会が結成される昭和64年までの主要な活動を年代順に記述し、当時の東京都防衛協会の活動を振り返り、その熱い思いに触れたいと思います。

【この間、昭和52年6月から杉田一夫氏(日本郷友連盟会長)が第2代会長に、昭和58年2月から瀬川美能留氏(野村證券会長)が第3代会長に、昭和63年



昭和42年1月から機関紙「東京都自衛隊協会の会報」

5月から高崎 輝氏(旭化成工業株式会社社長)が第4代会長に就任され、本会の充実・発展に尽力されました。

② 主要な活動
 昭和42年1月から機関紙「東京都自衛隊協会の会報」



桜と東京都紋章を組み合わせたものと推測されます

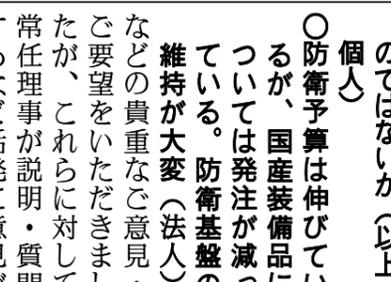
また、昭和43年7月に東京都防衛協会が、昭和44年に全国防衛協会連絡協議会が結成されましたが、いずれも本会が代表幹事団体として尽力しました。

を発行することになりました。同年6月創立十周年記念大会を開催しましたが、本会の使命に鑑み、発展的に東京都防衛協会に名称を改めるとともに会員徽章を制定しました。

意見交換会・総火演習ツアー実施さる!

東京都防衛協会は創立50周年を迎えましたが、活動を充実させるとともに特別会員の皆様が当協会の活動について更にご理解を深めていただくよう、28年度から「特別会員の皆様を対象とする事業」として意見交換会と富士総合火力演習見学バスツアーを実施することとしました。富士総合火力演習バスツアー(8月25日、総勢45名参加)は、写真で紹介いたします。

7月27日午後、グラウンドヒル市ヶ谷において特別会員と本部常任理事の意見交換会が開催されました。本事業は、当協会の諸活動に、特別会員の皆様のご意見などを反映させる施策の一つとして初めて企画されたものであり、特別会員9名、本部から澤山理事長はじめ常任理事7名が参加しました。特別会員からは、対処訓練などは普段研修できないので印象に残っている(本部事務局)



和やかに意見交換する参加者

活発に意見交換!

○年代を問わずに楽しめるような、当協会ならではの事業を企画して欲しい

○高師区や足立区等に防衛協会がないのが残念

○ユーチューブなどを活用して情報を発信したら会員が増えるのではないかと(以上個人)

○防衛予算は伸びているが、国産装備品については発注が減っている。防衛基盤の維持が大変(法人)などの貴重なご意見・ご要望をいただきましたが、これらに対して常任理事が説明・質問するなど活発に意見が交換され、和やかな中に終了しました。

意見交換会・総火演習ツアー実施さる!

東京都防衛協会は、区市町村の民間の有志で構成されている地区協会を中心に、昭和41年3月に結成された任意の団体です。○「自分の国は自分で守る」の気概をもって、広く都民の間に防衛意識の普及高揚を図るとともに、自衛隊を激励支援してその充実発展に寄与するような広範な活動を続けています。○会報「東京都防衛協会会報」を発行し、協会や部隊・自衛隊の活動を紹介し、都民と自衛隊の間の架け橋となっています。

海自基地・米海軍基地研修 - 横須賀 -

東京都防衛協会女性部会(江上栄子会長)は35名の会員の参加を得て、7月5日、海上自衛隊横須賀基地及び米海軍基地を研修しました。0930研修開始、横須賀地方総監 堂下哲郎海将から講話をいただいた後、タグボートに乗船して船越地区に移動、掃海母艦「うらが」では、太平洋戦争後から歴史及び掃海の要領について学び、艦内を見学しました。続いて米海軍基地のクラブで米国ならではのボリュームたっぷりの食事を満喫してから東京ドームの90倍以上はあろうかと思われる基地内を、海上自衛隊OBの古宇田さんの豊富な経験に基づく貴重な説明をいただきながら見学しました。その後、護衛艦「むらさめ」を研修、艦対艦ミサイル発射装置など主要な装備の性能にビックリするとともに艦橋に案内され艦長の気分を味わっていただきました。



模擬機雷を前にして説明 今日までの機雷戦部隊の掃海の

動に向かつて諸施策を立案実施しつつある。特に都連の特性上内局、陸、海、空の三幕、東方総監部、師団、地連等と接し協力の実を効果的に挙げるべく受入側、協力側の思想統一を測ると共に、都内未結地区に於ける結成促進に重点を指向して活動しつつある。更に全国連合団体結成呼び掛けに対しては首都に所在する都連の特性を自覚の上行動し、その前提として東部方面管内1都10県が先ず提携する事を計り東部防衛協会設立準備会も発足した。

海上自衛隊の皆様、そして部隊との調整に当たられ、当日は同行していただいた松下泰士常任理事(元自衛艦隊司令官)に心から感謝申し上げます。女性部会事務局長 谷口和代 (4面に関連記事)

本部事務所が移転しました!

東京洋服会館 9階

JRおよび地下鉄(有楽町線・都営新宿線)市ヶ谷駅から徒歩3分

外堀通り 飯田橋 →

← 新宿 南北線市ヶ谷駅

← 四谷 JR市ヶ谷駅 靖国通り



富士山を描く大砲の射撃

圧巻! 総火演

隊員及び家族の皆様の遺言アドバイザー

柴田 純一 行政書士 (遺言・相続専門)

遺言書がなく揉める相続。揉めたら全員が敗者です。勝者は一人もいません。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。

遺言書は、あなたと家族の絆の証明書!!

行政書士 柴田法務会計事務所
 〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13 受付時間/10:00~18:00
 TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409
 E-mail/info@yuigonsyo.biz http://www.yuigonsyo.biz/

秘密厳守

行政書士 柴田法務会計事務所
 〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13 受付時間/10:00~18:00
 TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409
 E-mail/info@yuigonsyo.biz http://www.yuigonsyo.biz/

私たちの誇り 躍動する自衛隊!

敵の侵攻を 阻止せよ! 第1師団訓練検閲

第1師団(師団長西陸将)は7月11日から19日までの間、東・北富士演習場において、第34普通科連隊(連隊長山之内1佐)、第1後方支援連隊(連隊長瓜生1佐)、第1特殊武器防護隊(隊長原田2佐)の訓練検閲を実施し、教育訓練の成果を評価し、その進歩向上を促しました。

本訓練検閲では6夜7日にわたる戦術行動の後、34普通連は「総合戦闘射撃」、1後支連は「1特防は「基本射撃」



を実施し訓練検閲の評価に反映しました。

敵を待ち構える34普通連隊員



横転した車両を回収する1後支



防護マスクを着けて射撃する1特防

遭難者を発見・救出

18日の戦闘射撃に先立ち実施した演習場安全確認の際、1機のUH-1Jが、前日から富士山登山中に行方不明となっていた民間人を発見(写真)し、これを収容して、御殿場小山消防署救急車へ引き継ぎ救助しました。



震災対処能力の向上を目指して

師団は7月5日から8日までの間行われた平成28年度自衛隊統合防災演習(28JXR)において、迅速な初動対処や被災情報の収集を行うとともに、活動拠点展開訓練、通信検証、航空情報提供訓練を実施しました。

師団は本演習において、幕僚活動の向上を図るとともに、現行計画の検証を行うことができました。今後も引き続き改善・検討を重ね、震災対処能力の維持・向上に努めていきます。



現地調整所での状況報告



衛生科隊員と患者を輸送する1飛

納涼祭開催!

練馬駐屯地(司令藤岡将補)は7月26日、駐屯地営庭において納涼祭を実施しました。当日は時折小雨の降る中、昨年比3千人増の地域住民等約1万人が訪れて祭りを楽しみました。



雨中に咲く打ち上げ花火

第1師団Facebook

逐次活動状況を掲載中
<https://www.facebook.com/gsd1stdivision/>

(師団広報班)

地本コーナー

平成28年度自衛官等採用説明会を実施

東京地本(本部長・三宅陸将補)は、平成28年7月26日及び8月3日グランドヒル市ヶ谷において、また、7月28日及び8月17日に立川グランドホテルにおいて平成28年度自衛官等採用説明会を実施



参加者に挨拶する募集課長



現職自衛官との懇談

る現職自衛官(リクルータ)及び現役防衛大学校・防衛医科大学校生との懇談等を実施しました。

特に、現職自衛官との懇談においては、参加者から職種や仕事へのやりがいについて積極的な質問が出る等、大変な盛り上がりを見せました。参加者は、日頃耳にする機会が少ない自衛官の仕事内容、勤務環境、普段の生活

し、延べ533人の参加がありました。

本説明会は、自衛官候補生、一般曹候補生、防衛大学校学生等、秋に実施する各種採用試験の受験対象者・同保護者等を対象に、自衛隊に対する理解の深化及び受験意欲の向上を目的として実施するもので、募集課長(藤田1等陸佐)の挨拶にはじまり、全般説明で自衛隊の活動、自衛官の魅力のほか、各種採用試験の概要について説明した後、陸海空自衛隊の各部隊等で活躍す

駐屯地紹介

練馬

練馬駐屯地は池袋から西へ約7キロ、川越街道沿いに位置し、緑豊かな自然、貴重な文化財など、魅力溢れる街、練馬区に所在しております。



桜舞う中の観閲行進



師団司令部庁舎 (H27.10 完成)

練馬駐屯地は終戦後、警察予備隊発足にあたり、東京及び関東を警備する主力部隊の第1管区隊所在駐屯地に決定され、各地から部隊が移駐し、昭和26年12月、練馬駐屯地として開庁しました。その後、幾多の改編を行い、平成14年に政経中核師団としての第1師団司令部が所在する練馬駐屯地として現在に至っております。

駐屯地には第1師団司令部をはじめとした13個単位の部隊、約2500人の隊員が所在しております。

また、駐屯地所在部隊の大部分を占める第1師団は、東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県及び静岡県内の1都6県の防衛警備・災害派遣などを主任務とし、多様な任務に即動できるように各種訓練に励むとともに、国賓・公賓の来日

に伴うと列・礼砲等の国家的行事への参加、自衛隊記念日観閲式における観閲部隊としての参加、国際平和協力活動への参加等様々な隊務を遂行しています。

練馬駐屯地は東京都23区内で実動部隊が所在する唯一の駐屯地であり、今後も地域とともに隊員一同、皆様の期待や信頼に応えられるよう隊務に精励してまいります。

(第1師団司令部)

相続・事業承継 対策と税務申告



税理士・行政書士 秋田 耕治郎

「命の襷」を繋ぐお手伝い

相続も事業承継も早めの準備が重要です。私たちは、皆様の大切な想いと財産を未来へと繋ぐお手伝いをさせていただきます。真心と感謝と祈りを込めて。

秋田会計事務所 | 相続支援センター
千代田区水道橋相談室
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-16 三弘ビル3F
TEL 03-3263-3458 FAX 03-3263-3459
E-mail: akita@tkcnf.or.jp URL: http://www.akita-kaikei.jp

東京地本Facebook



自衛隊東京地方協力本部 Tokyo pco



8月1日から東京地本のFacebookを始めました。こちらでも東京地本の活動や関東地区のイベント情報などを発信していきますので「お友達」「いいね!」よろしくお願いします。

※東京地本のトップページからFacebookに移動できます。

職場研修の対象: 自衛官に興味のある大学生・大学院生
お問い合わせ先: 東京地本募集課 03-3260-0543
mail:reku@rct.gsd.mod.go.jp

駐屯地・基地イベント情報

- ◎11/3 (木・祝) 入間基地航空祭
 - ◎11/27 (日) 百里基地航空祭
 - ◎12/9 (金) 東京音楽隊第55回定例演奏会 (すみだトリフォニーホール)
- ※防衛省・自衛隊のイベント情報は、「全国イベントマップ」
<http://www.mod.go.jp/j/publication>

職場研修 (募集課イベント)

- ◎12/9 (金) #7オフィスツアー 横須賀 (海自 護衛艦等) 10月上旬地本HP公開
- ◎12/14 (水) #5市ヶ谷オフィスツアー (歯科・薬科) 10月中旬地本HP公開

散歩道

名所・名店

東久留米市

都心からさほど離れていないベクトルタウンでありながら、平成20年6月に「落川と南沢湧水群」が環境省の「平成の名水百選」に都内で唯一選定されました。豊かな水に恵まれた黒目川やそのほか小流があり、小山台遺跡公園など多くの遺跡から旧石器時代の石器や縄文時代の住居跡など発掘されています。水の恩恵により古代から人々が集い暮らす地として形成発展し自然環境に恵まれた



小山台遺跡公園

「まち」です。最近では、毎年1月恒例の「七福神めぐり」が行われることから、縁起の良い七福神(大圓寺は寿老尊・福祿寿尊・恵比寿



大圓寺 七福神めぐり

尊、宝泉寺は弁財天、浄牧院は大黒天尊、多聞寺は毘沙門天、米津寺は布



ダイヤモンド富士

袋尊)を祀る寺院が人気で、川沿いに残る文化財を訪ね遊歩道をウォーキングする人が多くいます。

自然はもとより駅西口開発で、絶景と言われている冬の富士山や冬至の前後には山の真上に夕日が落ちる様子「ダイヤモンド富士」が駅舎から見ることが出来るようになり人気のスポットになっています。

皆様のお越しをお待ちしています。

東久留米市防衛協会
取材・構成 小山 弘



圧巻! 総火演

(1面の続き)

〈写真上〉を
演習開始を
待つ
〈写真左〉
攻撃前進する
90戦車



煙幕を構成する部隊

陸上自衛隊の隊員の練度の高さ、装備品について日本の技術力の高さをしっかり認識できた研修でした。(会員の所見から)

日本を守るため、日夜勤務に励む海自隊員に感謝!

大変貴重な体験をさせていただいた研修でした。

海上自衛隊横須賀地方総監の堂下様から直接プリーフィングを受けて感激いたしました。掃海母艦「うらが」、護衛艦「むらさめ」に乗艦させていただいたことで、日本の平和と独立を守り、国の安全を保つために危険な任務に従事し、日夜勤務に励んでおられる隊員の皆様に改めて感謝し、隊員の皆様のご健康とご無事を祈念いたしました。

また米海軍横須賀基地内の見学は、横須賀鎮守府の所管であった、旧横須賀海軍造船所内の多くの軍艦を製造してきた巨大なドッグの

楽しい健康教室!

今話題の「時間栄養学」を取り入れて...



「時間栄養学」とは、体内時計を取り入れ「なにを、どれだけ、いつ食べるか」を考慮した新しい栄養学のことで

ONE POINT 情報

- 食べる順序・速度編
1. 野菜を炭水化物より先に食べる
 2. 血糖値が急速に上がらない
 3. インスリンの分泌が抑えられる
 4. 血糖が脂肪に変わりにくい
- *食事は一口30回かむなど、ゆっくり食べる

朝食を食べて、より健康に! より効果的にダイエット!



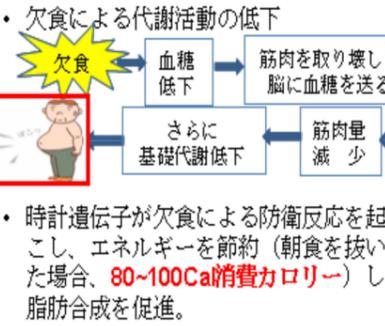
朝の光を浴びること、栄養バランスのとれた朝食をとることで、人の体は朝であることを認識し、25時間の脳の既日リズムのズレを修正します。

*朝食に、牛乳や卵、豆腐など手軽なたんぱく質を一品プラスしてエネルギー&プロテインチャージしましょう!

糖質は脳のエネルギー源である血糖をあげ、たんぱく質は筋肉と細胞の栄養になります。

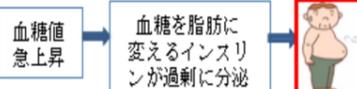
朝食を食べないと5倍肥満になり易い

朝食をとらなかつたら、それだけエネルギー摂取が少ないのだからやせるだろうと思うのは間違いです。米国の朝食欠食による肥満の頻度予測値の調査によると、朝食欠食者は約5倍肥満になりやすいことが分かっています。その理由は次の通りです。



朝食から夕食まで12時間以内にとる

- 朝食から夕食まで12時間以内を意識して実践するだけで減量につながります。
- 夜遅い時間の夜食は摂取したエネルギーが使用されず、脂肪として蓄積されやすくなるため、夕食は就寝の2~3時間前に軽めにとるのがおすすめです。
- *20時以降の食事は血糖値が高くなりやすいことも分かっています。



リオ五輪において、自衛隊体育学校の江原騎士選手が男子競泳八百メートル、荒井広宙選手が男子50km競歩で見事銅メダルを獲得し、ロンドン五輪に続いて自衛隊の底力を発揮してくれました。東京都会報もメダルに値する会報になるよう努力していきますのでご支援・ご協力よろしくお願ひします。(M・W)

秋川地区防衛協会 女性部会長 戸田幸子



特別会員コーナー 「航空機(UH-1J) 体験搭乗一孫と共に」

去る6月4日には、第1師団のヘリコプターに立川基地から孫と搭乗できることとなり、まさに天にも昇るような幸運を得ました。当日、地上では風はやや強く感じられましたが、熟達した操縦技量により殆ど揺れもなく、高度400mでの視界も良く、時速200kmで15分間程の飛行を楽しめました。

孫は、「まるで小人の町みたいで、観覧車も小さく見えたよ。富士山もよく見えた!」と少々興奮気味でした。



特別会員 丸岡昭夫

- 以下、全国防衛協会連合会が結成された昭和64年までの主要な活動を年代順に記述します。
- ア 海外軍事視察(海外研修)
 - 昭和41年(1966) 欧州
 - 昭和45年(1970) 韓国・台湾・沖縄
 - 昭和51年(1976) 韓国
 - 昭和52年(1977) 香港・台湾
 - 昭和55年(1980) マレーシア・シンガポール・タイ
 - イ 国内現地研修
 - 昭和46年(1971) 北海道、以後、平成3年(1991)までの間に北海道、新潟、佐渡、沖縄
 - ウ 自衛隊激励・支援
 - 昭和46年(1971) 雲石航空機事故救済
 - 昭和49年(1974) 伊豆沖地震慰問品
 - 昭和54年(1979) 東部方面隊大震災対処演習支援
 - 昭和58年(1983) 三宅島噴火災害慰問・激励
 - 昭和60年(1985) 日航機墜落事故災害支援、日米共同訓練支援
 - エ オリンピック激励支援
 - 昭和62年(1987) ソウルオリンピック
 - オ 政府等への要望
 - 昭和47年(1972) 立川市の自衛官住民登録拒否に対して立川市に抗議、政府・政党に是正要望
 - 昭和55年(1980) 有事法制・機密保護法制定に関し政府・政党に要望
 - 昭和57年(1982) 防衛問題・同予算案に関し政府・政党に要望

《平成元年度総会事業報告(H2.6.6)から抜粋》

幹事団体として前年度(S38年度)に引き続き各県防衛協会等と連絡調整を図りつつ、下記要領により全国組織の結成に率先努力した。

- 1 島田理事長等が全国組織結成につき6回(前年度16回)、一部の県防衛協会を訪問したほか、設立準備上の各種業務を支援
- 2 設立発起人会(H1.8.29)、同設立準備委員会(10.1)、設立総会及び発会式(10.29)等を全面的に支援
- 3 設立準備及び発足後の所要資金を融通(平成元年度取次ぎに基づき実施)
- 4 事務局による全国防衛協会連合会事務の兼任

これら全国防衛協会連合会結成についての本会の尽力に対し、九州地区防衛協会連絡協議会から昨年(H1)11月14日感謝状が寄せられた。

(3)この期間の活動の総括
国内外ともに防衛環境が厳しい中、首都東京の防衛協会として、全国的な視点で活動し、地区協会の大幅な増加を成し遂げるとともに東部防衛協会及び全国防衛協会連合会の設立に当たって中心的役割を果たした期間、ということが言えると思います。(平成29年1月号に続く)

東京都防衛協会五十年の歩(2)

以下、全国防衛協会連合会が結成された昭和64年までの主要な活動を年代順に記述します。

昭和63年(1988)6月から準備着手、平成元年(1989)10月25日、連合会創立記念総会を発起人代表として支援。東京都・東部防衛協会会長の宮崎輝氏が初代会長に就任

ここで、東京都防衛協会が全国防衛協会連合会結成に尽力した当時の活動を、平成元年度の総会資料から紹介します。